



いわき探検記

2022年7月号 (Vol.5)
地域おこし協力隊
辻村 春香

地域おこし協力隊の辻村です。
6月は、朝晩は寒く・日中は夏並みに暑い…、という妙な天候でしたね。
月前半は水撒きに奔走したのに、後半は立て続けの雨。
嶽地区では“トウモロコシ畑が水田のようになった”と各紙で報じられてい
ました。収穫に影響が出ないことを祈ります。
早速ですが、6月の活動を報告させていただきます。

都合により記事を削除いたしました。

2. こぎん

佐藤陽子こぎん資料館、再開！

コロナのために休館していた資料館ですが、「6月から再開する」というお知らせをいただいたので、さっそく見学させていただきました。

こぎんの歴史を伺ったり、作品をたくさん拝見させていただきました。

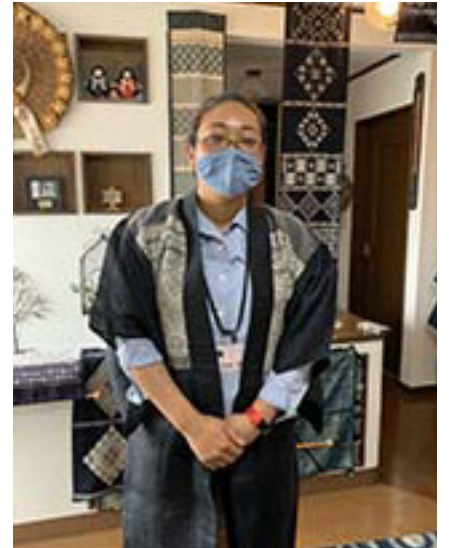
また、たまに見ることはできても触ることがほとんどできない“古作こぎん”。

陽子さんからの「古作の良さは、触れて・着て、初めて実感できるの！」とのお声に甘えて、古作こぎんを羽織ってみました。

「軽い!」。その言葉に尽きます。

現代こぎんとは布も糸も違います。現代は機械織の太めの糸で組まれた布にこぎんを刺すことが多いです。いっぽうの古作は手織りの麻布で、繊維がめちゃくちゃ細く、生地も軽い。当然、刺し糸の木綿の糸の撚り本数も異なります。

どんなものか感じてみたい方、ぜひ、資料館にお越しください!!



藍 (アイ) の成長

一番成長している藍は、4月18日に種蒔きしたものと5月17日に種蒔きしたものの。

畑に植え替えた時期が1週間ほどしかズレていないせいか、成長具合が拮抗しています。

思ったより成長した株が少なく、あとから畑に直播で種蒔きをしました。無事に育つでしょうか？

“夏に成長した藍を使ってワークショップができたなら…”という野望があるので、藍にはこのまま無事に、育ててほしい……。

(そして、遅蒔きの種は、しっかり芽吹いてほしい……)



手前は、4月・5月に苗作りして移植したもの。

奥は、遅く蒔いたので、かなりスカスカ。

4月に苗作りし、6月初めに、苗5本くらいを同じ場所に移植した。

6月末で20cmくらいの背丈に。

紅花 (ベニバナ) の成長

いっぽうの紅花は、マルチシートを敷いた列のほうが露地に植えた列よりも成長が早い…

露地のほうは、昨年まで草生い茂る畑だったせいか、土の中で雑草の種や根が生き残り、あわや負けそうな勢い。除草の自転車操業…。

来年はマルチングして種蒔きしようと思いましたが、

除草した草を有効活用するため、根元に敷き詰め“草マルチ”。

こちらは無事に育ってほしいですね♪



マルチを敷いた場所に植えたベニバナ。

幹も太くしっかりしていて、高さは75cmくらいある。

露地に植えたベニバナ。草刈り前は雑草に紛れ、勢いが負けていた。

全般的にひよろひよろ。背丈も50cmあれば高い部類に入る。

↑ 同じ日に植えたベニバナを、同じ日に撮影したもの。↑

3. 農業

“あおいのやさい畑” さん訪問

岩木地区にお住いの、若手農家さん夫妻が経営する“あおいのやさい畑”。岩木山ろくの気候を利用した高原野菜（キャベツ・レタス等）を大規模に計画生産している農家さんです。

杉山地区・十面沢地区の畑を見学させていただきました。

これからの収穫時期、人手が必要で、各方面に求人を出しているとのこと。

今後、親子参加で農作業体験イベントもしていきたい、と意欲に燃えていました。

こどもが農業を体験する“こども農業部”（主催：みらいねっと弘前）、親子イベントをいろいろしている“しのベース”のおふた方を紹介させていただきました。

今後の展開・活躍が楽しみです！



十面沢のレタス畑。一面レタスです！広いっ！！

4. ひろさき未来創生塾

葛原地区の古民家・丹鶴庵でのワークショップを計画中！



“ひろさき未来創生塾”の塾生として、企画運営している事業。葛原地区を拠点に、畑から始める食育と食のワークショップをしています。

メンバー募集が苦戦中（←まだまだ募集中）。

ワークショップをするため、葛原の写真スポットでもある丹鶴庵さんに、会場として貸してほしいとお願いしに行ってきました。

文化財指定されている大石武学流の初期の庭園のある、茅葺屋根の古民家です。

現在、民泊・レンタルスペースとしての再オープンを控え準備を進めているとのこと。

知人のヨガインストラクターからも、丹鶴庵でぜひヨガイベントをやりたいと相談されており、近々、実現することと思います。

葛原の“にぎわいの拠点”の一つとなっていってほしいですね。

5. 探検マップ

遅々として進まず…

いろいろ多方面に手を伸ばしすぎているせいで、遅々として進みません。

4～5月におべさまと回ったコース。

情報量が多すぎて、整理しきれない現状です。

このままでは先に進みそうにないので、7月にはコース設定をして、コースに基づく情報集めをしようかと思案中。

秋には試作コースを“歩く会”を開けるよう、準備していきたいと思います。



6. 和ハーブ

“あおい和ハーブの会”植物観察会に参加

座学で少しずつ学んできた“和ハーブ”。

6月は和ハーブの先輩たちに囲まれて、青森市の2箇所で開催された植物観察会に参加してきました。

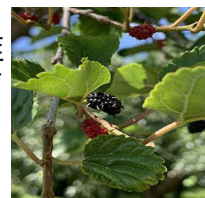
その際、岩木地区では「桜林公園が植物も豊富で、和ハーブ探索しがいがあるわよ」と助言をいただきました。

また、昨年見つけた岩木地区内のクワノキ。

“スーパーフード”マルベリー。これつまり、“桑の実”。今まさに収穫どきですね。

実以外にも、桑の葉は食物繊維やミネラルが豊富で、お茶として飲まれています。

これも身近な和ハーブですね。



7月初旬。こんなにも7月は忙しかったのか、と感じる日々を過ごしております。昨年とは異なり、コロナの勢いが緩み、おかげで地域行事も復活。地域行事がない数年を過ごしてきただけに、あれもこれもで首が回らない現実を過ごしております。(すべては、要領の悪い私だから…なのでしょうが。)

今年の夏も熱くなりそうなので、熱中症や日射病を避けつつ、乗り切りたいものですね。



WANTED

空き家を探しています！



探しています！



岩木地区に農業体験等のできる拠点を作りたいと考えております。地域内外の人と交流できるスペースとしたいので、空き家を探しています。

(物件への要望)

- ・退任後の居住を見据え、賃貸契約にて貸していただける物件。
- ・部屋数多め(6室以上あると嬉しい)。
- ・リフォーム・リノベーションをしてよい。
- ・車庫や倉庫があれば、なお嬉しい。
- ・立地：岩木地区内で、“少し足を延ばせば”里山や畑に行ける場所。
- ・賃料やその他条件⇒相談させてください。

「空き家になる予定があって…」 「親せきに管理まかされているけど…」 「1部屋だけは立入禁止にしたいけど、それ以外は使ってもらっていいんだけど…」 など。

情報があれば、まずはご一報いただき、お話しさせていただきたく思います！

梅や柿などの果樹

岩木地区内を歩いていると、放置された果実をよく目にします。庭やリンゴ畑の隅に植えたんだけど、さまざまな理由で収穫されず、放置されている果実たち。

一方で、市街地に住んでいる方からは「梅が手に入るなら、梅干しを漬けてみたい」「庭に柿があるなら、干し柿作りにチャレンジしたい」という声を聴きます。

そこで…、その2者を結びつけるワークショップを企画したいと考えています。


“手が回らなくて採りきれしていない果実(梅、杏、プルーン、柿など)があつて困っている方”を探しています。

果実を分けていただけたらな、と。

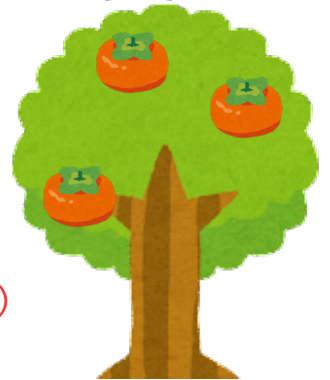
枝切り等必要であれば、方法を教えていただきながら、作業もしたいと考えています。

最終的に、収穫物・加工物を何割かお返しする形で、お礼する予定です。

「提供してもいいよ！」という方いらっしゃれば、お声がけください。



“果実採りたい(隊)をつくりたい…”



もろもろ情報
お待ちしております！

連絡先
岩木総合支所 総務課

地域おこし協力隊 辻村まで

Tel: 0172-82-1621
Mail: har-tsuji@city.hirosaki.lg.jp



「いわき探検記」が、協力隊のホームページに掲載されました！
こちらから、バックナンバーがご覧いただけます♪